

川崎駅周辺総合整備計画(案)について、 市民の皆様からのご意見を募集します！



募集期間

令和8年1月28日(水)から令和8年2月27日(金)まで

※郵送の場合は、締切日の消印有効です。持参の場合は令和8年2月27日(金)17時15分までとします。



閲覧場所及び配布場所

- ① 川崎市ホームページ
- ② かわさき情報プラザ
(川崎市役所本庁舎復元棟2階)
- ③ 各区役所(市政資料コーナー)
- ④ 支所・出張所
- ⑤ 図書館(本館・分館)
- ⑥ 市民館(本館・分館)
- ⑦ 教育文化会館
- ⑧ まちづくり局 拠点整備推進室
(川崎市役所本庁舎19階)



意見の提出方法

- ① 郵送
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
川崎市まちづくり局拠点整備推進室
- ② 持参
まちづくり局拠点整備推進室(川崎市役所本庁舎19階)
- ③ FAX
044-200-3969(まちづくり局拠点整備推進室)
- ④ インターネット入力フォーム
インターネットで川崎市ホームページにアクセスし、パブリックコメントの専用ページから専用のフォームを使って所定の方法により送信してください。



▲市HP

※持参の場合は、土曜、日曜、祝日を除く8時30分～正午、13時～17時15分の時間帯でお持ちください。
※意見書の書式は自由ですが、必ず「題名」「氏名(法人又は団体の場合は、名称及び代表者の氏名)」「連絡先(電話番号、FAX番号、メールアドレスまたは住所)」を明記してください。
※電話や来庁による口頭での意見はお受けできませんのでご了承ください。
※お寄せいただいた御意見は、個人情報を除き、類似の内容を整理または要約した上で、ご意見とそれに対する本市の考え方をとりまとめたホームページ等で公表する予定です。



川崎駅周辺総合整備計画(案)に関するオープンハウス型市民説明会(予約不要)

みなさまのご意見やご質問などをお伺いするため、オープンハウス型市民説明会を開催します。
本説明会は、会場に、説明パネルの展示を行い、職員などがみなさまからのご意見やご質問にお答えします。
どなたでも参加いただけます。また、入退場自由ですので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開催
1



令和8年 2月10日(火)
15:00～20:00

開催
2



令和8年 2月15日(日)
10:00～15:00

※各日、同内容・同場所での開催となります。※会場までは、公共交通をご利用ください。

場所



〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
川崎市役所本庁舎1階情報発信スペース



【問合せ先】

川崎市まちづくり局拠点整備推進室
メール: 50kyoten@city.kawasaki.jp

TEL: 044-200-2036
FAX: 044-200-0984

川崎駅周辺総合整備計画(案)について、 皆様からのご意見を募集します！

意見募集期間

令和8年(2026年)1月28日(水)から2月27日(金)



川崎駅周辺地区では、目指すべきまちづくり方向性等を示した「川崎駅周辺総合整備計画」に基づき、本市の玄関口にふさわしいまちづくりを計画的に進めています。

前回の計画改定から約10年が経過し、計画期限を迎えるとともに、社会環境や駅周辺を取り巻く状況変化などを踏まえ、これまでの取組成果を活かしつつ、新たな課題等に対応した多様な魅力と活力にあふれたまちづくりを推進するため、計画の改定に向けた検討を進めてまいりました。

この度、「川崎駅周辺総合整備計画」の改定(案)をとりまとめましたので、市民のみなさまからのご意見を募集し、あわせてオープンハウス型の市民説明会を開催いたします。

「川崎駅周辺 総合整備計画」 の構成

- 1 総論
 - 2 駅周辺のまちづくりの状況
 - 3 目指す市街地像・まちづくりの基本方針と基本施策等
 - 4 計画期間の取組等
 - 5 計画の推進に向けて
- ※2・3について中面に抜粋して記載しています。開いてご覧ください。
概要版・本編もあわせてご覧ください。

2 駅周辺のまちづくりの状況

計画改定にあたっての主な視点

計画期間内でのこれまでの取組の検証を行うとともに、社会環境の変化や駅周辺のまちづくりの状況を踏まえ、市民意見等の把握を行うことで、計画改定にあたっての主な視点を整理しました。

(1) 計画期間内での主な取組と効果

(2) 社会環境の変化

(3) 駅周辺のまちづくりの状況

(4) 市民意見等の把握

※本チラシでは、(2)と(3)について、抜粋して記載しています。詳細は、概要版や本編でご確認ください。

(2) 社会環境の変化

少子高齢化や人口減少の進行、社会のデジタル化やみどりを活かしたまちづくりなど、本市を取り巻く社会環境に変化が生じていることや、駅周辺のまちづくりに関連性の高い計画の策定・改定が行われています。

■社会環境の変化等のキーワード



(3) 駅周辺のまちづくりの状況

平成28(2016)年の計画改定から約10年が経過する中で、駅周辺のまちづくりの状況に新たな動きなどが出てきています。

■①新たな開発動向への対応

新たな開発計画が公表されたことから、これらの機会を最大限に活かし、引き続き、都市の魅力発信と利便性を高めながら、賑わいを創出するまちづくりが必要です。

▼川崎新！アリーナシティ・プロジェクト



【提供：㈱ディ・エス・エー】

▼京急川崎駅西口地区第一種市街地再開発



【川崎市資料】

■④地域資源の活用

旧東海道や若者文化のアートなど多様な地域資源を活かし、歴史や文化を感じながら歩いて楽しめる空間を整備し、ウォーカブルな都市環境の整備を進めることが必要です。

▼東海道の歴史と文化を活かした取組



▼ウォールアート



【すべて川崎市資料】

■②護岸整備とあわせた河川活用

まちとかわの連携による新たな賑わいの創出や回遊性の向上に向け、国の護岸整備の機会を捉えたアクセス性の高い動線や多摩川の視線を活かした空間づくりが必要です。

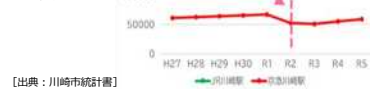
▼川崎駅周辺の時間帯ごとの滞留人口分布(2024年)



【出典：RESAS地域経済分析システムより川崎市作成】

■⑤アフターコロナを踏まえた社会変容への対応

テレワークやオフィス通勤などの働き方の多様化により、交通量の平準化は図られつつあることから、それらを踏まえたまちづくりが必要です。



【出典：川崎市統計課】

■③公共空間の更なる活用

地域の住民や事業者など官民が連携した公共空間の活用に向けた取組を継続し、賑わいと居心地の良い都市環境を整備することが必要です。

▼ルフロ前広場



▼稲毛公園カンパイヤデー



【すべて川崎市資料】

■⑥交通機能の整備

バス運転手不足の深刻化など、公共交通を取り巻く社会環境の変化に対応するため、誰もが移動しやすい交通環境を整えることが必要です。

▼全国のバス・タクシーの運転者数の推移



【出典：国土省資料】

■計画改定にあたっての主な視点

- A 多様な都市機能集積とまち全体の回遊性の向上
- B 多摩川河川敷等の「みどり」の活用と市街地との連携
- C 道路・公園等の公共空間の有効活用
- D 旧東海道等の地域資源を活用したウォーカブルなまちづくり
- E まちづくりの担い手となるエリアマネジメントの組成
- F BRT・自動運転の推進などの新たな技術への対応

3 目指す市街地像・まちづくりの基本方針と基本施策等

目指す市街地像

本市の玄関口にふさわしい多様な魅力と活力にあふれたまち 川崎

～官民連携による更なる成長を支える「核」づくりとまちを支える「人」づくりを通じた持続可能なまちを目指して～

(1) 基本方針・基本施策等の体系

※赤字 現計画からの更新箇所

(2) ゾーニング

まちづくりの基本方針

- ①魅力と活力ある広域拠点の形成
- ②地区内を往来しやすいウォーカブルなまちづくり
- ③安全・安心に過ごせるまちづくり
- ④人と環境にやさしく「みどり」を活かした持続可能なまちづくり
- ⑤个性的で賑わいのあるまちづくり
- ⑥市民協働・共創のまちづくり

まちづくりの基本施策

- 1 再開発の推進
- 2 回遊性の強化
- 3 利用しやすい交通環境の形成
- 4 防災機能の強化
- 5 社会変容への対応(少子高齢化・グローバル化等)
- 6 環境に配慮したまちづくりの推進
- 7 美しい都市景観・都市環境の形成
- 8 「みどり」を活かしたまちづくりの推進
- 9 まちの賑わいづくりの推進
- 10 地域の担い手づくりの促進



Check !

本リーフレットは、抜粋版です。

ぜひ「川崎駅周辺総合整備計画(案)」の概要版・本編もご覧いただき、ご意見をお聞かせください。



▲市HP

ご意見等
お待ちしております

